

2024年9月11日

[配信枚数 3 枚]

発信元 滋賀大学広報課

報道関係者 各位

学生が地域の課題に向き合い立案

中高年男性を対象としたイベント「ひとりを嗜む時間」を開催

～ひとりでいたい男性にとって居心地のいい共同空間～

本学では、学生の夏季休暇期間を活用した地域実践型 PBL 学習の一環として、地元企業・団体のプロジェクトをテーマに課題解決や企画提案を実践するプロジェクト型インターンシップを実施しています。

このプロジェクト型インターンシップの受入先で、福祉事業を展開する株式会社アイズケア（滋賀県彦根市地蔵町 73-2、代表取締役：矩 規晶）と本学学生は、学生による立案で、下記のとおり中高年男性を対象としたイベント「ひとりを嗜（たしな）む時間」を実施しますので、ご取材いただければ幸いです。

【「ひとりを嗜む時間」イベント詳細】

定員：15名

参加費：無料

日時：2024年9月25日(水) 午後7時～9時（開場 午後6時30分）

会場：トガノツバメ（滋賀県彦根市戸賀町 100-50）

申込方法：Google フォーム（<https://forms.gle/jxHzzi6PyUFH6hex9>）より申込
※別紙チラシをご覧ください。



申込フォーム

【内容】

1. 施設探検（5分）

2. ひとりを嗜む時間（40分）

例)本を読む、コーヒーを淹れる、ゲームをする、楽器を演奏する。

3. 哲学対話（60分）

【株式会社アイズケアでのインターンシップの目的】

本学学生が、地元企業と一緒に地域福祉の課題に取り組むことで、新たな視点や知識を取り入れることができると考えています。より多くの人のデイサービスのイメージを向上させたり、可能性を認知したりしてもらう活動をしています。

【参加学生】

経済学部 2 回生 上野永珂（うえの・はるか）

データサイエンス学部 3 回生 北川稔之（きたがわ・としゆき）

【取材対応可能日時】

場所：トガノツバメ(滋賀県彦根市戸賀町 100-50)

広報活動・イベント準備 9月12日(木)午後2時～午後5時

9月19日(木)午前9時～正午

イベント前日準備 9月24日(火)午前9時～正午

イベント当日 9月25日(水)午後7時～午後9時

※ご取材の際は下記取材申込先までご連絡ください。

本件に関するお問い合わせ先（取材申込先）

● イベントについて

トガノツバメ 担当：西田

TEL：0749-30-9959 E-mail：togano-tsubame@iscare.co.jp

● プロジェクト型インターンシップ（授業）について

滋賀大学 地域連携教育推進センター 担当：柴田

TEL：0749-27-1348 E-mail：fukugan@biwako.shiga-u.ac.jp

＼滋賀大生と地域の課題に向き合い立案しました／

現場の課題感

現場の方によると、どちらかというと男性はひとりの時間を大切に、社交的な交流よりも自分の時間を重視するため、デイサービスへの関心が低い傾向があり、一方で、女性は話すことを楽しむため、デイサービスに通われる方が多いそうです。

これからのデイサービスの在り方として、利用者が主体的に行動できる場を提供し、自分の時間を重視する男性にとっても居心地の良い環境づくりを目指しているとのことでした。

課題解決に向けた提案

そこで、ひとりの時間を重視するタイプの男性をトガノツバメに呼び込むための企画を考えました。この企画を通して、特に男性高齢者の居場所づくりに向け、地元企業と参加者が共に時間を過ごし、対話を重ねていくことを提案します。

哲学対話を用いた対話の実践

哲学対話とは、対話のためのルールがあり、簡単には答えのない問いを決め、その問いについて共に考え、語り、聞くことで、考えを深め合うことです。本イベントでは、共に時間を過ごし、対話をする機会として哲学対話を実践します。



哲学対話のルール

- 何を言ってもいい
- 人の言うことに対して否定的な態度をとらない
- 発言せず、ただ聞いているだけでもいい
- お互いに問いかけるようにする
- 知識ではなく、自分の経験にそくして話す
- 話がまとまらなくてもいい
- 意見が変わってもいい
- 分からなくなってもいい

トガノツバメ



滋賀県彦根市戸賀町100-50

営業日 10:00-16:30(日・月定休日)

お問い合わせ

0749-30-9959

togano-tsubame@iscare.co.jp

<https://www.iscare.co.jp>



@TOGANO_TSUBAME

ここであなたなら何して過ごしたい？